

# 令和6年度 第2回 神奈川県立二宮高等学校学校運営協議会 議事録

日時 令和6年11月12日(火) 15:30~16:30  
会場 神奈川県立二宮高等学校(南棟2階 会議室)  
議長 副校長(会長欠席のため)  
司会 教頭

## 次 第

### 1 校長挨拶

### 2 議 事

#### (1) 各グループより中間報告

##### ○学習支援グループ

- ・授業評価は生徒自身の取組の評価でもあるが8割を超える満足度を得た。
- ・授業に生かすため、個々のコメントを教員に報告した。
- ・相互授業見学について地元小中学校へ案内する。

##### ○生徒支援グループ

- ・学校説明会は学校・生徒を見てもらうため学校で行った。
- ・地域に愛される魅力ある学校を目指して地域貢献・ボランティア活動をしている。
- ・男子バレー部・卓球部・弓道部・陸上部等、部活動は活発になっている。

##### ○進路支援グループ

- ・インターンシップ・上級学校及び企業訪問は進路に対する意識付けに役立った。
- ・学校推薦型・総合選抜型入試の対策指導を実施している。
- ・進路希望は大学30% 短大5% 専門学校40% 就職20%である。
- ・指定校推薦による進学が6割である。
- ・企業による求人が大幅に増えている。

##### ○学校管理グループ

- ・各行事が滞りなく行われている。
- ・文化祭でのPTAの活動(麦茶提供・綿菓子、駄菓子販売)は生徒に喜ばれた。

##### ○生活指導グループ

- ・安心安全に学校生活ができるよう指導を行っている。
- ・実態に合わせたアンケートを実施し、いじめ・心の悩みの把握に努め解決に役立てた。
- ・各種研修を生徒及び職員に行い意識の向上に努めた。

##### ○インクルーシブ教育推進グループ

- ・説明会のアンケートでは「わかりやすい」、「雰囲気が良い」等の評価を得た。

#### (2) 令和6年度不祥事ゼロプログラムの中間報告

- ・管理職のみならず各グループの職員が主体となって研修を行った。
- ・職員相互の声掛けを平素から行って事故・不祥事防止の意識を高めている。

#### (3) 学校運営協議会 学校関係者評価と有識者による評価について

- ・令和6年度から「有識者による評価」(「第三者の視点」)が追加された。各委員には「意見・要望」の提出と有識者には「第三者の視点」の提出を依頼した。

#### (4) 質疑応答

問 サポートドックのアンケート集計結果はどのようなだったか。

回答 具体的ないじめの事例はなかったが心のケアに活用している。

問 食育講演会はどのようなものか。

回答 朝食・栄養バランスの大切さを伝える内容である。

問 問題行動等未然防止講演会の講師はどのような方か。

回答 いじめ、不登校等諸問題に知見のある方を迎え、事例を踏まえた話を聞くことができた。

問 P T Aへの加入状況はどのようなか。

回答 1, 2年生で数名の保護者が未加入である。

問 情報機器の選定・購入はどのようにしているか。

回答 県指定のスペックを示し購入をすすめている。未購入の生徒約 20 名には学校所有のものを貸し出している。

問 小学校に授業改善プログラムの授業見学の案内をする予定はないか。

回答 中学校だけでなく小学校にも案内をします。

問 相模人形部の活動はどのようにになっているか。

回答 地域貢献の一環として3名が所属しているが、人形を操作するにはまだ人数が足りない状況である。

問 生徒の通学区域はどのような状況か。

回答 二宮町内からの生徒は約 40 名、近年は茅ヶ崎市・寒川町からの生徒が多くなっている。

意見 闇バイト等が社会問題になっている。将来、社会の一員としての活躍できる人材を育てる必要がある。そのために社会の仕組みや税金の基礎等の学習を小学校、中学校で行っている。高校でも学習の積み重ねに努めてほしい。

意見 学警連の活動の一環として、二宮町内の諸学校の連携を深める必要がある。

### 3 今後の予定

第3回学校運営委員会 3月に予定 調整ののち実施